
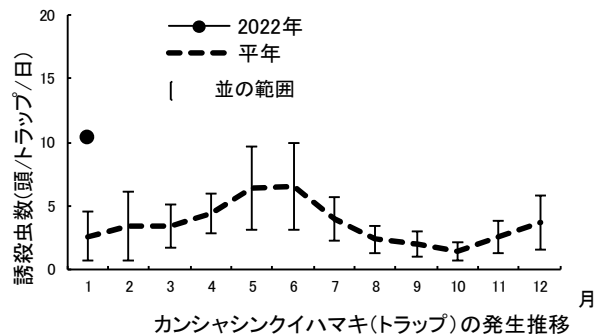
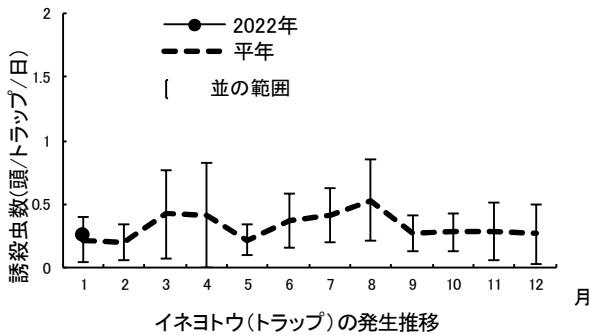
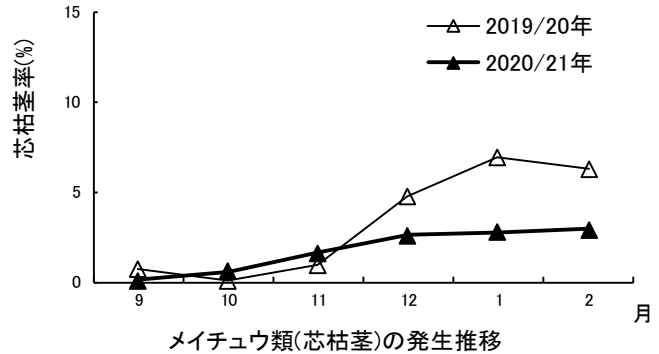
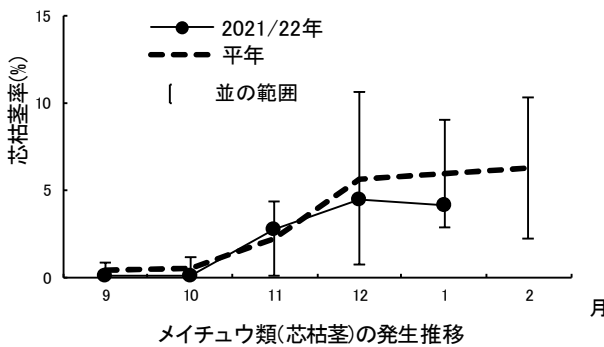


作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		芯枯茎率の平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移

過去 2 年の推移



- ・沖縄本島の茎内で確認されたメイチュウ類の58%(14/24頭)がカンシャシクイハマキ、42%(10/24頭)がイネヨトウであった。
- ・病害虫防除員報告：伊江島（多発生、芯枯率16.5%）

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。